

令和7年分 税の申告をお忘れなく！

- ・所得税の確定申告について 間西大寺税務署 086-942-3815
- ・市県民税の申告について 間税課 0869-22-1114



申告にあたっての
注意事項

所得税と市県民税の申告相談が、令和8年2月16日（月）から3月16日（月）まで行われます。申告が必要な人は、早めに書類などの準備をします。申告相談会場の開設は、申告相談の期間中のみとなります。申告が必要な人は、e-Taxなどで提出できます。

青色申告、消費税申告、過年度所得、本人死亡の場合の申告相談は、市が開設する申告相談ではお受けできません。税務署が開設する申告相談を利用してください。

※市が開設する会場の開催日程は、広報せとうち2月号に掲載します。

申告が必要な人は
早めに準備をしま
しょう。

年分の申告、住宅借入金等特別控除、株式、土地などの譲渡所得、本人死亡の場合の申告相談ではお受けできません。税務署が開設する申告相談を利用してください。

また、市に納付した保険税、保険料については、申告書に領収書を添付する必要はありませんが、1年間の支払額を知りたい人は、本人確認のできるもの（マイナンバーカードなど）を持参の上、税務課へお問い合わせください。

※e-Taxは市の申告会場には設置していません。

社会保険料控除の対象金額を確認しましょう

【西大寺税務署からのお知らせ】 確定申告のご案内

- ▷開設期間 令和8年2月16日（月）～3月16日（月）※土日祝は除く
- ▷相談時間 午前9時～午後5時（受付は午前8時30分～午後4時）
- ▷会場 西大寺税務署（岡山市東区西大寺中2-24-13）

※来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

- 上記の開設期間は、ママカリフォーラム（岡山市北区駅元町14-1）でも相談できます。
- 確定申告会場では、原則としてご自身のスマートフォンを利用して確定申告書などを作成するため、マイナンバーカードとマイナンバーカード取得時に設定した次のパスワードを必ず持参してください。

- ①「利用者証明用電子証明書」（数字4桁）
- ②「署名用電子証明書」（英数字6文字以上16字以下）

- 申告会場への入場には入場整理券が必要です。

次のいずれかの方法で取得できます。

- ①LINEアプリによるオンライン事前発行

来場希望日の14日前から申し込み可能です。

- ②当日配布する入場整理券による当日予約

当日の配布状況に応じて、後日の来場をお願いする場合があります。



国税庁LINE公式
アカウント

確定申告は マイナンバーカードで e-Tax



- ☑ マイナポータル連携で
控除証明書などのデータが
自動入力できます！

マイナポータルはこちらから
※利用には事前準備が必要です。

- ☑ 「確定申告書等作成コーナー」では、
金額などを入力すると自動計算で
申告書が完成



申告書作成コーナーはこちらから
※令和7年分の確定申告書等作成
コーナーは令和8年1月5日に
公開予定です。

便利なe-Taxをぜひ
ご利用ください



新年のごあいさつ

人が集い、手取りが増えるまちへ

あけましておめでとうございます。市民の皆さまは、輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年6月に市長に就任いたしました。この半年間で、子育て世代支援のための「不妊治療助成の新設」から始まり「長船への民間こども園の誘致」、公共交通強化のための「虫明・長島愛生園線の増便」計画や「牛窓・邑久駅線の延伸」計画、「長船駅前駐車場の増設」、市民の安心安全のための「リチウムイオン電池の回収開始」、財源を確保するための「ふるさと納税額拡大の取り組み」など、すぐに着手できることを迅速に前へと進めてまいりました。

また、市政の情報公開をさらに進めるために、私自身のYouTubeチャンネルなどSNSで情報発信をするだけでなく、市議会映像の配信が市のYouTubeチャンネルでスタートいたしました。

年が明け、これからは、いよいよ新年度予算を決める段階になります。私は、「人が集い、手取りが増えるまちづくり」を進めていくため、お金の使い方を大きく変えていきたいと考えています。

市民の皆さまから頂く声には、「人口が減る」ことが根本原因である課題が多々あります。身近な例では、地域の溝掃除や道路周辺の草刈り、祭りや伝統文化の継承も、地域の担い手が減ることで徐々にできなくなります。公園や公民館、学校の整備をしてほしいという声も、人口が急激に右肩下がりになれば形にすることは難しくなります。

しかし、瀬戸内市には可能性があります。人口約70万人の政令指定都市に隣接し、岡山駅からJRで最短21分で着ける立地に加え、商業施設にも恵まれている生活利便性。さらには、魅力的な自然環境や文化もあるため、既に長船エリアは人口増加地域となっています。そのため、これからは市をあげて、人口減少の現実に対して、本気で向き合いたいと考えています。

来年度の予算からは、子育て支援策の強化、公園や保育園こども園などの生活環境整備、企業誘致の推進、バスや鉄道など公共交通の改善、文化や自然を生かした観光誘致など、若者、高齢者、障がいのある方含めすべての方が住みたいと感じていただけるまち、「人が集い、手取りが増えるまち」をつくるため、積極的に投資をしていきたいと考えています。

この基本方針を多くの方に知っていただき、議論させていただくため、2月7～8日にはタウンミーティングを開催いたします。12ページに詳細を記載しています。ぜひ、ご参加ください。

結びに、皆さんにとりまして、本年が明るく希望に満ちた一年になりますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。

瀬戸内市長 黒石 健太郎

